

24春闘② 主要企業 昨年以上の賃上げを想定!

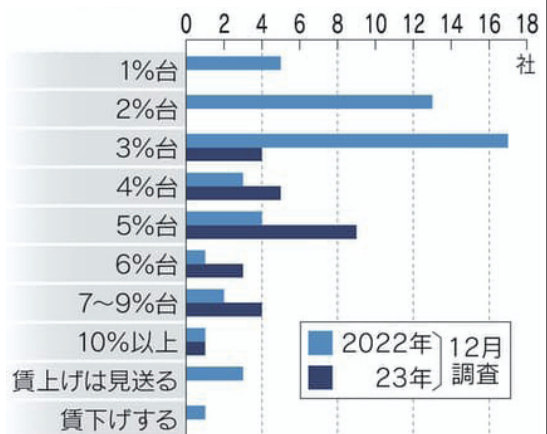
日経新聞は、国内主要企業社長 100人アンケートを行っています。

それによると、24年度の定昇とベアを合わせた賃上げ率の想定について、5%台が34.6%と最も多く、4%台が19.2%、7～9%台が15.4%となっているとされています。

昨年の同アンケートでは、3%台が最も多く、実績は4%台であったとし、主要企業は1年前より高い賃上げを想定しているとしています。

昨年は物価上昇には追いつかず、厳しい生活実態となっています。労働者の生活を守るため、物価高騰に負けない賃上げをさせなければなりません。

春季労使交渉での想定賃上げ率



(注)23年12月調査で回答した26社と、22年12月調査で回答した50社を集計。「検討中」と無回答を除く

(日本経済新聞 23.12.28 より)

★アンケートにご協力を!

国労東日本では、賃金・一時金アンケートを行い、団体交渉でアンケートの結果を伝えてきています。

昨年は、若手社員の離職が増えていることや「融合と連携」により「仕事が増えているのに賃金が上がらない」「将来展望が持てない」などの不満や不安の声が出ていることを伝え、モチベーションを上げるためにも「賃上げ」「一時金の満額回答」を強く求めてきました。

順調な回復の下で「安全・安定」輸送が守られているのは、私たち社員の努力があってこそです。社員・家族の生活を守り、働き続けられる会社とするために、アンケートへのご協力をお願いします。

24春闘・夏季手当
アンケートの回答は
こちらから!



物価高騰に負けない 賃上げを実現しよう!